

久留米工業高等専門学校と連携・協力に関する協定調印式を挙行＝日本歯車工業会＝

去る5月20日、日本歯車工業会は、久留米工業高等専門との間で連携・協力に関する協定調印式を行い、協定を締結しました。

調印式は日本歯車工業会が第59回通常総会を前に、久留米高専においてものづくり教育センター見学と講演会を開催するため訪問した際に挙行されました。

協定は、日本歯車工業会と久留米高専が歯車産業の振興発展及び工業人材育成に寄与することを目的とし、①歯車技術者の人材育成に関する事、②歯車企業に対する技術支援に関する事、③産学連携交流促進に関する事が掲げられており、協定締結により、JGMAギヤカレッジの開催等で結ばれてきた日本歯車工業会と久留米高専との絆がより深まることが期待されます。

協定調印式後、日本歯車工業会のメンバーは、ものづくり教育センターを見学し、JGMAギヤカレッジ企画・運営委員を務める有浦泰常九州大学名誉教授による「大学における歯車工学教育と歯車技術者のレベルアップ」と題した講演会を拝聴後、久留米高専をあとにしました。

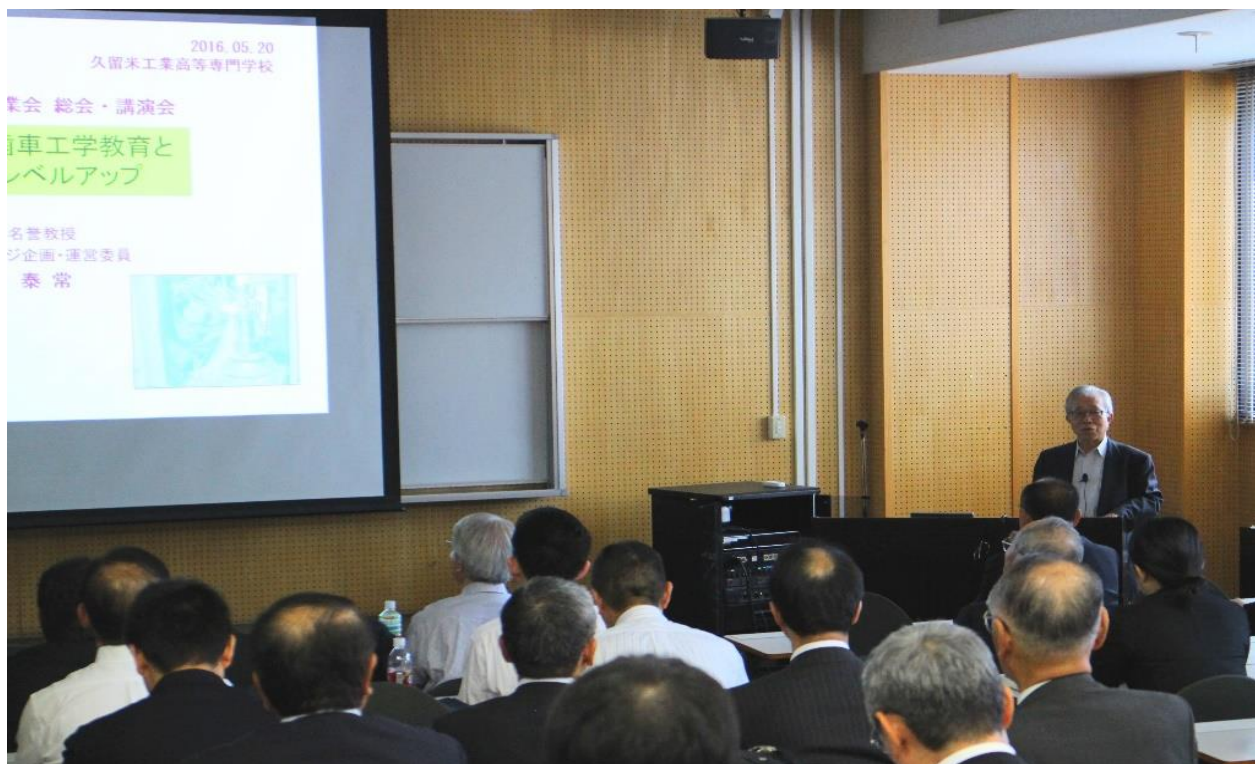
なお、この日日本歯車工業会と久留米高専は、早速協定に基づき今後の共同研究の打ち合わせを行ないました。



協定書を持ち、握手を行う日本歯車工業会澤田会長(写真左)と三川校長(写真右)



関係者との記念撮影



講演を行う有浦泰常九州大学名誉教授(写真右)